

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	キャリアライフプランニングⅥ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	川村・仲村・岩村・澤・林・河上	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
就職先での柔道整復師としての自分自身の行動目標、社会に貢献できる柔道整復師像をイメージし、何が必要なのかを自分自答し、将来のキャリアプランを実現するために準備を進める。						
《成績評価の方法と基準》						
1.レポート(70%) 2.出席評価(20%) 2.授業態度と参加度(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編 改訂第7版 (南江堂) 柔道整復学・実技編 改訂第2版 (南江堂)						
《授業外における学習方法》						
講義内にての配布資料の復習 グループディスカッション						
《履修に当たっての留意点》						
グループディスカッションを多く用いた演習形式の講義形態になりますので、積極的に参加してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(1)	配布資料 PC、プロジェクト ター		
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の業務範囲について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(2)	配布資料 PC、プロジェクト ター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の業務範囲外疾患への対応について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(3)	配布資料 PC、プロジェクト ター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	療養費について①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(4)	配布資料 PC、プロジェクト ター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	療養費について②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(5)	配布資料 PC、プロジェクト ター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	開業準備時に必要な知識について①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(6)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	開業準備時に必要な知識について②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(7)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	開業後に必要な知識について①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(8)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	開業後に必要な知識について②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループディスカッション(1)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師について①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループディスカッション(2)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師について②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループディスカッション(3)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師について③		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	グループディスカッション(4)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師について④		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師としての活動について(1)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の社会的意義について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師としての活動について(2)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の多職種連携について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	第1回～第14回までの知識、理解度の確認を行う		